

自立と共生！

たぐましい日本！

No. 211号

民主党 中川正春の **永田町かわら版**

2004年3月3日

〒100-8981 千代田区永田町2-2-1 衆議院第一議員会館 428号

TEL 03-3508-7128 FAX 03-3508-3428

<http://www.MASAHARU.GR.JP>E-mail g03063@shugiin.go.jp

○国会議論から

年金の民主党案はこれだ

国会の議論は、イラクや北朝鮮から、年金、三位一体の財源移譲、有事法制や高速道路、裁判員制度などの司法改革と内政問題に話が移っていきます。先週の日曜日は、近畿地区の県会議員や市長村会議員の年金、三位一体の勉強会に呼ばれて姫路に行きました。この先、かわら版の各号で1つずつ取り上げていきます。

まず、今日は、年金です。政府が出してきた年金案は、ひどいものです。このまま行けば年金の資金が不足するから、取りあえず保険料を6%上げて、給付水準を50%まで下げたい。これだけです。皆が不安に思っている根拠は、全く解消されていません。

基礎年金は既に40%が未払い。さらに、厚生年金の保険料をも払わない企業が増えてきた。計算の基礎になっている子供の出生率が下がりつづけている。過去に積み立てたはずの資金が大幅に崩され債務となっている。しかも厚生年金保養施設の建設や職員住宅などにまわされた分や財政投融资で政府によって運用されている分が相当不良債権化しているのではないかと、等々。

保険料の値上げは、働き盛りの若い世代と企業に負担が偏ります。さらに、もらえるはずの年金額が下がれば、受給者の不安は、おさまりません。若い人たちにとっても、政府の案では、保険料を上げてまた制度が破綻して、結局私達の支払った保険料は、年金として帰ってこないのではないかと基本的な不安を消す事は出来ません。

民主党案を作りました。まず、保険料はこれ以上上げません。年金の給付レベルも全体としては、下げなくてすみます。このことを実現するために、消費税の3~4%を年金不足分にあてます。ただし、基礎年金月額13300円の定額払込はやめ。代わりに、どれ

の高い人には、補填はしません。以上のことを新しく実現するために、消費税を3~4%上げて、年金のみの財源とします。その他、税金の無駄づかいをなくして、財源を確保します。

以上の民主党案を単純に言い換えると、①保険料は、これ以上上げません。②年金の給付額も今のレベルを保障します。③低額年金の人に、最低7万円の基礎年金は税で補填して保障し、社会のセーフティーネットとします。④保険料は所得に応じて全ての人に払ってもらい、不足分は、消費税のアップ、4~5%と税金の無駄使いの清算で賄います。その結果、積み立てた年金の元は必ずとれます。これを民主党の対案にして、政府、自民党案にぶつけます。

これで安心してまかせてもらえるでしょうか。ご意見を下さい。

○若者を鍛える

自衛隊の入隊式

自衛隊の入隊式がありました。三重県で陸、海、空あわせて120人の若者達が入隊をします。

「イラクへの自衛隊派遣については、私たち民主党は反対をしました。しかし、一旦ことが決まって、自衛隊の活動が始まった以上は、事故のないように、イラク復興に十分に貢献してきてもらいたい。」と挨拶しました。

それにしても、彼らのファッションはさまざまです。制服のネクタイを首から10センチくらい下でゆるく締め、下着のティーシャツをのぞかせながら、シャツのすそをズボンの中に入れないままの形。ズボンのまたが、ひざのすぐ上のところまでずり落ちていて、転ばないかと心配な子供。髪型にもそれぞれの個性が光りました。現役の自衛官達が薄緑色の制服をピシッと着こなしている姿とは、対照的で目立つのです。

だけ低くても所得に応じて現在の厚生年金の率(13、0%)の保険料を払ってもらいます。さらに、どれだけ所得が低くて支払った保険料が少ない人であっても、老後の最低保障年金は7万円まで保証することとします。さらに、最低保障年金の3倍(21万円)までの範囲で所得に応じた年金額に補填を加え、従来の基礎年金的な附加をします。所得

ところが、こうした若者達が名前を呼ばれて舞台の上で紹介され、緊張をしながら頭を下げる表情は、打って変わって、凛々しくあどけないのです。皆、この後、どのように鍛えられ成長していくのでしょうか。去年の視察で出会った、インド洋で油の補給をしていた海上自衛官達の頼もしい姿が思い出されてきました。